

リサーチ Research—

—在仙大学生・専門学生の価値観・ライフスタイル
および中心部商店街との関わりに関するアンケート—
限られたお金と時間のなかでコスパ、タイパを
意識し、自分らしい選択を求める傾向に

当所では、若者の価値観やライフスタイルを把握し、若者をひきつけるまちづくりの取り組みに生かすため、在仙大学・専門学校8校の学生を対象としたアンケートを実施しました。今月号ではその一部をご紹介します。

◆調査内容…学生の価値観、ライフスタイル、商店街に対する意識など

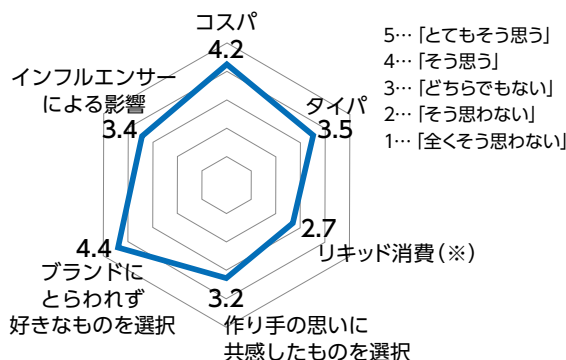
◆調査日…2024年11月12日(火)
2025年1月24日(金)

◆調査方法…ウェブ調査
◆回答数…1960件

効率性などを意識しつつ
最も重視するのは「自分らしさ」

若者が消費活動を行う際、インフルエンサーや芸能人などの影響を受けるか、また「タイムパフォーマンス(以下、タイパ)」や「コストパフォーマンス(以下、コスパ)」を重視するかなどについて、それぞれ「とてもそう思う(5)」から「全くそう思わない(1)」までの5段階評価で聞いたところ、各項目の平均値は、「ブランドにとらわれず好きなものを選択」が4.4と最も高く、次いで「コスパ」が4.2、「タイパ」が3.5、「インフルエンサーによる影響」が3.4という結果になりました(図1)。ここから、仙台の学生(若

図1. 価値観の5段階評価平均をもとに作成したレーダーチャート



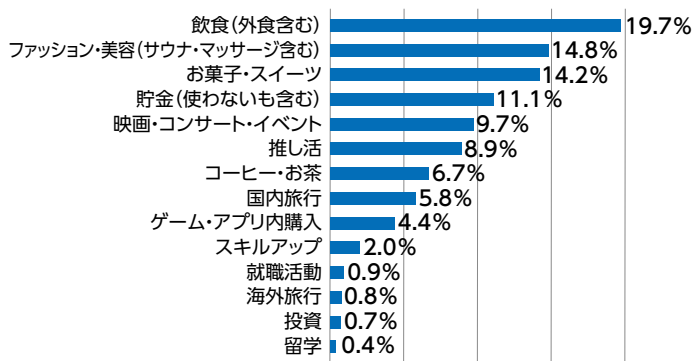
者)は、有名人の発言や、タイパ、コスパを意識しつつもブランドや高級品などにとらわれず「自分が好きだと思ふものを購入したい」という内面的な価値基準を最も重視している傾向がうかがえます。
※リキッド消費…モノを所有しない消費行動。シェアやレンタル、サブスクリプションなど。

お金の使途は飲食やファッション

「推し活」など現代ならではの回答も
毎月自由に使えるお金は、「1万円

3万円」が全体のボリュームゾーンで43.3%を占める結果となりました。その使い道は、「飲食(外食含む)」が19.7%で最も多く、次いで「ファッション・美容(14.8%)」、「お菓子・スイーツ(14.2%)」の順。「貯蓄」も11.1%と1割を超える回答がありました。また、「推し活(8.9%)」や「ゲーム・アプリ内購入(4.4%)」など、現代の学生ならではの回答も見られる結果となっています(図2)。

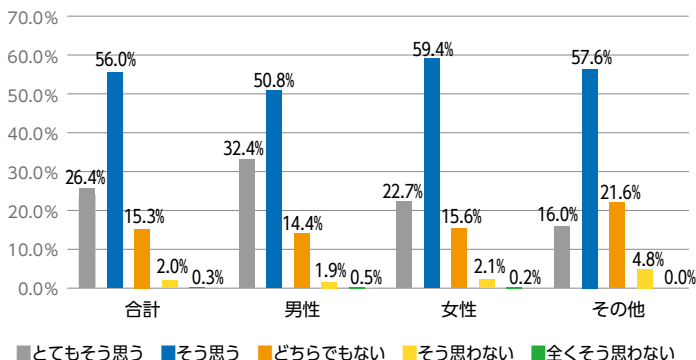
図2. 毎月自由に使えるお金の使い道



中心部商店街は魅力的という回答多数

さらに魅力を高めるには環境整備が必要
本調査では中心部アーケード商店街に対する意識も聞きました。本エリアに魅力を感じるかについては、「と

図3. 中心部アーケード商店街に対する魅力



でもそう思う」が26.4%、「そう思う」が56.0%で、全体の8割超が商店街を魅力的と捉えています(図3)。そうした中で、中心部商店街にあればよい・足りないと思う要素を聞いたところ、具体的な店舗のジャンルとしては「カフェ」「飲食店」「雑貨屋」「本屋」など、環境面では「無料の休憩スペース」「トイレ」「ごみ箱」などを求める声が多く挙げられました。

当所では、本調査結果やこれまで実施してきた商店街の意識調査、来街者調査などの結果の分析を進めながら、今後も中心市街地活性化に向けた取り組みを展開していきます。

本稿で紹介できなかった調査結果の詳細は、当所ホームページよりご覧ください。
お問い合わせは、当所地域づくり推進グループ(TEL 265-8184)まで。

